

SORA

web magazine 2013.jun. vol.17

美しいアシカとの出会い

メキシコのラパスは野生のアシカと一緒に遊べることで有名な場所
アシカたちとの出会いを楽しみに何度も足を運んでしまう

海も、国も、人も驚きに満ちた国へようこそ

Photo & Text : Yasuaki Kagii

MAP
CLICK!

Lapaz

ラパス

tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2012
World Tour Planners Co., Ltd.
All Rights Reserved.



驚き Surprise

Lapaz

ラパス



天文学的な数の群れに魅了

カリフォルニアアシカやジンベイザメなどの大物に会えることで有名なラパスの海。もう十数年通い続けているが、何度訪れても驚かされる海であることは間違いない。ここ数年のお気に入り、2年に一度くらいの割合で、アシカの棲むロスイスロテス島周辺に発生する小魚の群れ。その群れは天文学的な数で、水中を行けども行けども、お魚まみれ状態。アシカたちはこれを餌にしているに違いないのだが、これはもう産地直送のバイキングで、うらやましい限り。その小魚を求めて、中型魚も徘徊しているのだが、その様子が銀河のようで、これがまた美しい。海でいることを忘れるくらいに奥が深く、予想外の魚群の流れとタイミングが興味深くて仕方がない。そして、アシカたちも、その群れに突っ込んで、パツ！と花火のように群れが放射状に弾ける様子もこれまた素敵。そして、特別ゲストはウミウ。大きな爆発を鳴らして海に落下してきては、小魚を追いかける。その時、彼は、私たちダイバーの近くを泳ぐことも。

命のやりとりは、輝き、そして、予想外の生き物との接近を許してくる。

アシカに恋をした瞬間

カリフォルニアアシカが主役の海である。私は、まだビギナーダイバーだった頃に、水族館で見たアシカに憧れて、ラパスにやって来た。水族館のステージで、おどけた仕草で、観客を笑わせていたアシカが、プールに飛び込んだ。まるで変身したのか？別の生き物なのか？と思うくらいにプールの中のアシカはスピーディーで、美しかった。その瞬間に、私はアシカに惚れてしまった。

それからフリーランスのフォトグラファーになってから、毎年ラパスの海に通った。もう10年以上にもなる。今では、アシカの顔の特徴もわかるようになり、この子がべっぴんさんとか、かわいいとかも見分けるようになった。一度、私にまわりついてくる若いメスアシカがいた。私が、こっちで撮影しようよと誘うと、どこでも後ろを付いて来てくれた。当時フィルムカメラで36枚のカット枚数という限られた時間だったが、私はそのメスアシカをモデルに撮影を楽しんだ。そして、36カットを撮影したのち、お別れしたのだけれど、今でもその時の写真を見ると、心が少し切なくなる。

初めて野生動物に恋をした良い思い出だ。

R^{ロマン}omance



夜空を眺めながら

ラパスの海でロマンを求めるなら、オルカやクジラが現れるかもしれないクルーズ船でもいいけれど、やっぱりキャンプがいい。エスプリットサント島という聖なる島という名をもつ大きな島の静かな入り江で、キャンプ&ダイブを楽しむ。

朝起きて、山の上を越えてくる朝日を感じて、温かいコーヒーと専属シェフお手製のメキシカンブレイクファーストを食べる。そして、ダイビング！アシカと遊んだり、大きな魚群にばっかりと飲み込まれたり。また、沈船に潜って、月面世界到着のような疑似体験をする。そして、キャンプ地に戻ったら、過去にヨーロッパ人によって掘られた井戸まで行って真水のシャワー。これがたまたま気持ちいい。そして、美味しいディナーとセルベッサ（ビール）+テキーラ！満点の星空を眺めながら、宇宙と対話。テントの中で寝始めると、波音が足元まで届きそうで、これがまた深くよく眠れる。



タコス は 絶品!!

ラパスは、外国と言う認識は必要だけれど、一人歩きもできる安全な街。特に、マレコン(海岸線沿い)は、観光客も多く、明るく賑やかなメキシコの雰囲気心地よい。レストランやバーも多く、種類もメキシカン、イタリアン、中華、和食もあり、好き嫌いが多くの方でも大丈夫。お薦めは、少し冒険してみると、例えば、屋台のタコス。正直、毎年のラパスの旅で、アシカに会うことと同じくらいに楽しんでいるのが、現地でタコスを食べること。パリパリのハードトルティーニャではなくて、柔らかいソフトトルティーニャ。高いものは美味しい。そんなのは当たり前なんだけど、やっぱり、地元の人が毎日、口になっているものが、一番うまい。だから、タコス! ダイビングセンターやホテルのスタッフの人に聞いて、美味しいタコス屋さんを聞いてみる。海岸線付近になるなら、OK。もし、少し離れた場所ならば、お世話になったガイドさんに連れて行って! とお願いしてみましょう! ニューカレドニアのバゲッドもそうだったけど、やっぱり、地元飯でしょう!



Information

- 国名:メキシコ合衆国 ●ビザ:6ヶ月以内の観光には不要
- 言語:スペイン語。ホテル、空港では英語も通じる
- 通貨:メキシコヌエボペソ
- 時差:日本より15時間遅い。日本の正午はラパスの前日午後9時
- 電圧:115/125/127V、60Hz。コンセントは日本と同じ2つ又
- 水:ミネラルウォーターの飲用を